

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立唐津東中学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>○学力の向上については、2つの学年で成果指標を達成するなど、想定以上の数字を達成できた。次年度も継続して成果指標を達成するために、さらなる取組を進めていきたい。また、試行段階から参加している「日本語リーディングリテラシーテスト」については、その結果をどのように指導につなげるかについて検討していきたい。</p> <p>○心の教育については、道徳に関する校内研修の実施をとおして「考え議論する道徳」の実践を進めたい。また、いじめについては、全ての職員が基本方針を理解し、それに基づいて行動することで、引き続き早期発見に努めていきたい。志を高める教育ではふるさと学が佐賀県への誇りや愛着を育むものとなっているか、見直しを行う。</p> <p>○業務改善・教職員の働き方の推進については、当初予定していた具体的取組について全て実施したものの、成果指標の達成には至らなかった。次年度は指標達成に向けてより効果的な取組の検討をしていきたい。</p>
2 学校教育目標	校訓「光 力 望」のもと、「自主自律」の精神を培い、知徳体の調和のとれた生徒を育成する。地域や国際社会の発展に貢献する高い知性と志を備えた心身ともに逞しい生徒を育成する。
3 本年度の重点目標	<p>①生徒一人ひとりの進路希望の実現</p> <p>②わかる授業実践と授業改善への取組</p> <p>③社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育の充実</p> <p>④グローバル人材、チャレンジ精神を持った生徒の育成</p>

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師75%以上にする。	・評価シートに関する説明会を行い、マイプランへの理解を深める。 ・3学期にマイプランの達成度を検証し、次年度への課題の洗い出しを行う。	A	・現時点でマイプランを達成している、あるいは3学期中にマイプランを達成できる見込みである教師の割合は90%以上である。	A	・マイプランによる評価で充実したものになっていると思う。 ・授業参観では、生徒が真剣に授業に取り組んでいる様子で、好感が持てた。 ・学力を向上させようとする先生方の熱意が伝わってきた。	・進路指導
	○学力の向上	○全国模試の学力推移調査において、benesseの指標A1以上の生徒を38名以上にする。 ○「家庭学習は十分にできている」について肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。	・わかる授業の実践に取り組み、効果的に適切な課題に取り組みさせる。 ・調査前を中心としたサポート学習を行う。 ・学力分析会(年3回)を実施し、結果の共有と課題の洗い出しを行う。	B	・第3回学力推移調査の結果を見ると、目標達成とまではいかなかったものの、おおむね年間を通じて、各学年、各教科ともに学力の伸びを実感できる結果であった。 ・「家庭学習は十分にできている」について肯定的な回答をした生徒の割合は65%弱(2学期末)であり、目標達成とはいかなかった。	A	・サポート学習会を実施するなど、きめ細かな取組がなされていると感じる。 ・話し合い活動を実施することで、生徒の自主性が高まり、学力向上につながっていると感じる。 ・全国模試を指標として評価することは具体的な目標の設定として適していると感じる。	・進路指導
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	◎「道徳科の授業の内容について、深く考えることができたか」という振り返りで肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。	・職員室の道徳コーナーを活用し、各学年で教材や参考資料の共有を行い、「考え、議論する道徳」の授業実践に取り組む。 ・生徒の自己肯定感を育むため、各行事の生徒の良さを認めたり紹介したりする学級・学年通信の配信を充実させる。	A	・生徒対象のアンケートで「道徳の授業が好きだ」と回答した生徒は82%であった。 ・昨年度職員室に設けた道徳コーナーでは、4つの内容項目で分類した共有教材、参考資料等を約120件ストックしたが、すでに有効活用されている。 ・学級通信や学年通信を通して、生徒の様子を前向きに伝える機会が前期よりさらに増えた。	A	・豊かな心を身につけるためのさまざまなイベントを行うことには大きな意義があると思う。 ・年間行事がしっかりと組み立てられており、かなりの達成感があると思う。 ・生徒に倫理観、正義感等をしっかりと教える必要があると思う。 ・質の高い芸術に触れる機会を増やして欲しいと思う。	・総務(道徳担当)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)についての取組、事案対応等について組織的対応ができていると回答した教職員を90%以上にする。	・いじめに関する職員研修を実施する。 ・「いじめ未然防止の取組」「いじめ早期発見の取組」に努める。	B	・令和3年度では12件のいじめの認知があったが、生徒理解協議会や普段の生徒観察などを通して、生徒の様子などの情報を共有することで、よりよい集団作りやいじめの早期発見に努めることが出来た。 ・いじめに関する職員研修の充実が課題である。	A	・いじめへの対応マニュアルはたいへんよくできていると思う。 ・いじめている実感のない人にもどのようにして気づかせるかということが大きな課題だと思う。 ・教職員の声かけで救われる生徒もいるのではないかなと思う。	・生徒指導
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上にする。	・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。	A	・コロナ禍において講演会をはじめ行事がなかなか実施できないのは痛かった。そんな中で、3年生の修学旅行が実施できたのは何よりも幸いであった。修学旅行を通して見聞を広げ、90%以上の生徒が将来に対し視野を広げることができた。 ・1年生の校外学習も滞りなく実施できて3年生同様、80%以上が故郷への道筋を深め将来を考えるきっかけにできた。2年生は職場体験学習が実施できなかったが、進路に関する学びを深め、90パーセントの生徒が将来への関心を高めた。	A	・自分の郷土に誇りを持つことで、夢が生まれると考える。 ・中高一貫の特色を生かして、高校生の成長の過程を見ることができているのは影響が大きいと思う。 ・世界平和や日本の発展を考えることで、自分の夢を想像することができると思う。さらに、国や地域のために何ができるのかを考えて欲しい。	・総務
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康のために食事は大切である」と回答する生徒を90%以上にする。	・「ほけんだより」等をおして、食育に関する情報を提供する。 ・家庭科との連携、ミルク給食やフッ化物流洗口等の円滑かつ適切な運営を行う。	A	・「健康のために食事は大切である」と回答した生徒は94%で目標数値の達成ができた。コロナ禍において、食事、休養、運動が体の抵抗力を高めることになることを「ほけんだより」を通じて意識を高めることができた。また、「スクールカウンセラーだより」により健康についての情報を提供することができた。 ・ミルク給食、フッ化物流洗口もトラブルなく運営できた。	A	・食事の大切さをわかりやすく伝えることができていると思う。 ・家庭教育で目指すべきところではないかと考える。 ・おいしく食べる知恵を伝えたり、よく味わって食べる習慣を身につけるなどして欲しい。	・保健厚生
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在学等時間の上限を遵守する。	・時間外在学時間の上限を周知する。 ・定時退勤日、学校閉庁日を設定する。 ・職員の在学時間を把握し、必要に応じて面談を行う。 ・部活動について効果的かつ十分な休養日を設定する。	A	・時間外在学時間の上限については、32時間54分と月平均45時間を下回り、概ね目標達成といえる。 ・留守番電話の導入やメールでの欠席等の連絡が定着し、業務縮減につながった。 ・定時退勤日を設定していたものの、部活動、学習会等との兼ね合いで効果をあげることができなかった。実行性の高い設定の仕方を考えたい。	B	・ノー残業デイの実施を目指して欲しい。 ・部活動で土日のうちどちらか1日は休みにすることは続けて欲しい。 ・このような資料を作成するだけでもたいへんであると思う。生徒が明るく元気な笑顔になるためには、教職員の仕事を減らし、教職員に余裕をつくる必要があると考える。	・管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・学力の向上については、すべての学年で目標達成とまではいかなかったものの、順調に学力が伸びていることがいえる。次年度も継続して成果指標を達成するために、さらなる取組を進めていきたい。また、学ぶことの楽しさを伝える授業実践については、教職員のさらなる努力が必要であり、それを学力向上にどうつなげるのかを検討していきたい。</p> <p>・心の教育については、道徳教育の大切さを再認識し、「考え議論する道徳」の実践を進めたい。また、いじめについては、アンケート結果を受けていじめ対策校内委員会を開催することで、全職員が基本方針を理解し、それに基づいて行動することができた。引き続きいじめの未然防止と早期発見に努めていきたい。</p> <p>・業務改善・教職員の働き方改革の推進については、具体的取組が実践されたり、協力して問題を解決していこうという雰囲気をつくっていくことで、職員の業務への前向きな姿勢を高めていくことが必要と考える。</p>
----------------	--